

## 集団的自衛権行使の口実、次々崩れる

### 邦人輸送中の米輸送艦の防護

安倍首相は昨年7月、集団的自衛権の行使を認めた閣議決定の際の記者会見で、右のイラストを掲げ、「わが国への攻撃ではないが、日本人の命を守るため、自衛隊が米国の船を守る。それをできるようにするのが今回の閣議決定だ」と語っていました。

ところが、今年8月26日の参院安保法制特別委員会の質疑で、大野元裕議員（民主党）が、首相の示したイラストのどこが「存立危機事態」に当たるのかとただしたのに対し、中谷防衛相は「邦人が米艦に乗っているかどうかは（行使条件の）絶対的なものではないと答弁。法案が米艦に乗った日本人を守ることが目的ではなく、「存立危機事態」を口実に、海外で戦争をしている米軍を支援するのが本当のねらいであることが一層明らかになりました。

「米艦に乗ってた母子姿消す」（朝日川柳）



### ホルムズ海峡での機雷掃海

安倍首相は「ホルムズ海峡を通る原油が途絶えれば救急車などのガソリンはどうなるのか。冬場に寒冷地で国民の命に関わる問題となりかねない」と述べ、機雷封鎖が存立危機事態に当たるとして集団的自衛権行使の具体例に挙げています。

しかし、今夏、核開発問題でイランと米欧などとの合意が成立し、駐日イラン大使は、イランがホルムズ海峡に機雷を敷設する可能性について「全く根拠のないこと」と否定しています。（7月23日）また、イランの軍事、安全保障政策の責任者であるアリ・シャムハニ氏は、テヘランで朝日新聞の単独インタビューに応じ、日本の安保法制論議で具体例として示されたホルムズ海峡の封鎖について「ホルムズ海峡は地政学的に重要。開かれた、静かな海域にするべく最善を尽くしている」と述べ、ホルムズ封鎖可能性を否定しています。（朝日新聞8月27日）

イラン、ホルムズ封鎖可能性を否定



## 審議は紛糾、追い詰められる政権



座席周辺に散らばる資料を手にする中谷防衛相（8月19日）

参院審議では、米軍に対する自衛隊の兵站（<sup>へいたん</sup>後方支援）でクラスター爆弾、劣化ウラン弾、毒ガス兵器など非人道兵器や、核兵器の輸送まで法律上は可能な「歯止めのなさ」や、自衛隊統合幕僚監部が戦争法案の成立を前提に、さまざまな項目について極秘に検討を行っていた自衛隊の「暴走」など、法案の危険性や欠陥が次々と明らかになっています。

審議中断が頻発し、小池晃議員（日本共産党）が自衛隊内部資料を暴露した日（8月11日）は散会に追い込まれています。

### 平和国家のブランドを捨てるな！

安保関連法案には、PKO協力法の改正も含まれます。安倍首相は「自衛隊の近くでNGOが武装集団に襲われた場合でも、自衛隊は駆けつけて救援できない。これでいいのか」と述べ、改正はNGOのためにもなると強調しています。しかしNGO（世界各地で難民支援などに携わる非政府組織）関係者は、首相の発言とは逆に、自衛隊の海外での活動が拡大すれば、平和国家としての日本のイメージが一変し、「NGOの活動環境は著しく危険なものに変わることは明らかだ」（「NGO非戦ネット」声明、58団体、450人）として廃案を訴えています。

今や、世代（高校生も！）、性別を超え、国民の多数が全国で（海外でも！）安全保障関連法案（戦争法）の廃案を要求して声をあげています。戦争法は必ず廃案に！

## 8・29 安保法案「許さない」デモ

2回目の「安保関連法案&特定秘密保護法反対！」集会・デモ（県弁護士会主催）が、8月29日（土）午後4時から、神戸（東遊園地）、尼崎、姫路、豊岡の4か所で行われました（神戸4000人、全県で6000人集まる）。神戸集会では5人のリレートークのあと、2コースに分かれてデモ行進しました。



**Wさん**（神戸学院大学教授）

今回の法案はアメリカの戦争に加担するということに他なりません。何から何まで憲法違反です。憲法というルールを踏みこみにじった者たちが、この国の政治の舞台に立てないよう懲らしめてやらなければなりません。

**Kさん**（SEALDs 関西＝自由と民主主義のための学生緊急行動）

10代から20代の若者が、夏休み返上で、安保法案を止めるために活動しています。

安倍総理とその周りの政治家たちの目に私たちは映っているのでしょうか。私たちの声は届いているのでしょうか。国民が理解していなくても、支持率は関係なく、決めるときは決める、そんなことを平気で言える人が国のトップに立って政治をしているということが私は恐ろしくてたまりません。

安保法案が強引に押し通されてしまったら、日本は戦争のできる国になってしまいます。この法案が通ってしまうこと自体が存立危機事態ではないのでしょうか。武力で平和が作れるわけがありません。武力に力を注ぐのではなく、対話という手段をもって、平和的に問題を解決する努力を捨てないでほしいです。

私は安倍総理にはっきりと言いたいです。この国はあなたのものじゃない。この国の憲法はあなたの解釈で変えられるものじゃない。あなたのために、この国のために私たちは生きているんじゃない。一人一人が感じ、考え、意思を持って自分の人生を必死に生きているのです。

今、日本全国で声が上がっています。小さな声がたくさんたくさん集まって、日本中を覆っています。国会を間違いなく揺るがせています。民主主義はまだここに生きています。私たちを黙らせることは絶対できない。次の世代に戦争できる国を絶対引き継がせたくない。私は絶対黙りません。絶対に諦めません。頑張りましょう。



盲導犬とともに。Y弁護士

### 「憲法9条の会・岩岡」の催し物

#### ①お茶会

と き：10月23日（金）13：30～      ところ：岩岡連絡所多目的ホール（小）

参加費：無料

「一日陶芸教室」（9月2日、22人参加）で作った湯呑がこの日に焼きあがって届けられる予定です。世界に一つのマイ湯呑でお茶を飲みませんか。おいしいお菓子も用意します。お題は、「憲法9条の会・岩岡」に望むこと、その他何でも、の雑談会です。陶芸教室に参加されなかった方は湯呑を用意しますので、どなたでもお気軽にご参加下さい。

#### ②DVD「映像'15 よみがえる最前線～神戸と核と“日米同盟”」上映と被爆者の貞清百合子さん（灘区在住）のお話&恒例のバザー

と き：11月21日（土）13：30～      ところ：岩岡連絡所多目的ホール（大）

参加費：無料

貞清百合子さんは、7月27日に放映された上記番組（毎日放送）に出演されています。ぜひ直接お話をお聞き下さい。

### 第92回世話人会

と き：2015年9月18日（金）13:30～      ところ：岩岡連絡所多目的ホール（小）

「戦争法」を許さない闘い、情勢の学習と2015年度の会の活動について考えます。